



猪股 俊秀さん
生産技術科 2年
(弘前市出身)



高崎 融さん
生産技術科 2年
(八森町出身)

■ 出席者 ■
座長 大館市長 小畑 元
(会場・中央公民館)

新春座談会

■ 市長を囲んで ■

若者にとつて

魅力ある街

昨年は、大館能代空港の建設工事が着工し、秋田桂城短期大学設置の第一次申請が文部省の認可を受けるなど、市の活性化に向けて新しく出てきた芽が少しずつふくらんできました。その芽を大きく育てる年、平成七年が幕を開けました。

これからの街づくりに生かすため、秋田職業能力開発短期大学校の五人の皆さんに、若い人たちがどんな街に魅力を感じているのか、市長と対談していただきました。

市長 皆さん、あけましておめでとうございます。今日は、新春対談ということでおいでいただきました。市では今、五大プロジェクト、三大大策ということで大館の活性化に向けていろいろ頑張っているところなんです。昨年は景気の底という感じの年だったのですが、立ち上がるきっかけがつかめそうな新しい芽もいっぱい出てきたし、今年には飛躍の年にしたいですね。

五年度に開校した秋田職業能力開発短期大学校は、大館で初めての高等教育機関として設置されたわけで、そこに入学された皆さんは、大館にとってこれまでになかった新しい層の若者たちというこ

とになるわけです。そういうあなたたちの目から見た大館の明日を語ってもらうことは、大館の歴史にとっても大変意義深いことだと思います。今日は大いに語り合いましょう。

市長 今年はどういう年にしたいですか？ 抱負をどうぞ。

高崎 職能短大で今勉強をしながら、物を作る楽しさが分かっています。能代にある機械加工、精密加工をする会社に就職が内定しているのですが、職能短大で身に付けた技術を生かして思いっきり仕事をしてみたいと思っています。

猪股 僕は相模原市の電気、機械

の開発設計をする会社に行くことにしました。早く技術を身につけて、人生を賭けてみたいです。

高崎 僕は職能短大に残ることにしました。職能短大に入る前に、プログラマーの仕事で三年間千葉県で社会人生活の経験があるんですが、今就職する大館桂工業が二つ目の職場です。今年は、自分の時間を作って、好きな野球などスポーツに挑戦してみようと思っています。

貝森 小坂の建設会社に勤めることにしました。大館が好きだから、自宅から通勤できる所に決めたいです。今年は、時間的余裕も出来るので、本を読む時間に使うかな。

市長 三人が卒業後も大館に住んでくれるんですね。特に笹谷さんは、北海道から来て曲げわっぱの魅力のとりこになって、そのまま大館に就職してくれるということで大変うれしですね。他の人も

せつかく二年間大館で生活して勉

